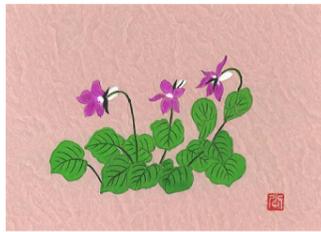


# 会 報 ゆう ほう

平成25年

谷口理事長 年頭訓辞

新年明けまして、おめでとうございます。  
 年頭にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。  
 昨年12月には衆議院選挙があり、自民が単独300に近い議席を  
 獲得して圧勝し、民主から自民へ政権交代がありました。  
 民主における国政・国防・外交における不安定な3年間を改善  
 していただきたいと思ひます。又、社会保障と税の一体改革に  
 においても、改善改革を期待したいところです。  
 さて、私たち敬和会といたしましては、H25年度は昨年の訓示  
 で述べたように、H24年度から3年間は事業所ごと施設ごとの独  
 自な展開を考える時期であります。昨年度はデイセンターの改  
 築、人事交流、日南市東地区地域包括支援センターの開設など  
 があります。



今年は昭寿園の一部移転に着手します。現在、日南市との協議  
 を進めているところです。  
 全個室ユニットとして80床分をサンヒル跡地(敬和会所有地)に  
 移転計画中であり、今年度中に設計までこぎつけ、来年度始め  
 に入札、着工、H 27年度4月にオープンを目指します。  
 2011年の震災を教訓にサービス利用者の安全保護そして地域住  
 民の一時避難所として社会福祉法人の使命に基づき役割を果た  
 していこうと思ひます。



ところで、昨年12月に九社連老人福祉協議会の施設長研修会が  
 宮崎シーガイアで行われました。国が打ちだしている「施設か  
 ら在宅へ」という流れを、施設と在宅が連携し合い、  
 「施設も在宅も」という流れに変えなければならないと話をさ  
 れました。  
 これはどういうことかという、その人その人に応じた必要な  
 介護とか、必要な医療とかを考えていくと、やはり両輪として  
 推進していくものであり、在宅・居宅系サービスのよう介護  
 サービスを外部に依存することは行き過ぎだということでした。

これからの新しい特養ホームは、高機能なサービスを提供する  
 施設であり、その為にはガバナンスを発揮できる先駆的な社会  
 福祉法人にならなくては行けないと言われました。  
 収支状況も良く、介護サービスの質の向上にも積極的に取り組  
 み「疾患別アプローチ」「水分補給」をベースにした認知症ケ  
 アを実践し、「廃養症候群」の予防と改善を目指す  
 「リハビリテーション」の強化と自立支援ケアに取り組むこと。  
 又、職場環境の改善・人材育成・地域貢献に取り組んでいくこ  
 とだと言われました。



私たち敬和会は、今のべていた先駆的な社会福祉法人です。  
 その先駆的な社会福祉法人として昭寿園・和幸園で取り組んで  
 いる事を日南市、そして地域住民に発信していきたいと思ひま  
 す。

最後に敬和会の経営理念であります

- ① 利用者のニーズに答える。
- ② 地域社会に貢献する。
- ③ 働き甲斐のある職場をつくる。

この3つの理念を職員全員が意識を共有し、前進していきたい  
 と思ひますので協力をお願いして年頭の訓示とします。



## ご 案 内

1月17日 午前11:30  
 誕生会

2月3日 節分の豆まき ユニットごと

2月21日 午前11:30  
 誕生会

3月3日 日南市民福祉まつり  
 昭寿園コーナー出展

3月17日 午前11:30  
 誕生会



# 平成24年イベントあれこれ

## 春の散策



## 敬老会



## 行楽弁当



## ユニット運動会



## クリスマス会



## 駒宮神社参拝

